22　　令和８年度　中央畜産技術研修会実施計画　　基礎

【　畜産経営　】

１ 開催期日　　令和９年２月 15 日（月）～２月 19 日（金）　５日間

２ 講義日程

月日	時間	講義名及び講師の所属氏名
２月 15 日（月）	13:10～13:30	開講式
	13:30～16:40	畜産経営の会計システム 大原大学院大学　会計研究科 准教授　保田　順慶
２月 16 日（火）	8:45～11:45	畜産経営のための簿記の技術 同　上
	12:45～15:35	演習 同　上
	15:50～17:10	農業経営・畜産経営の特徴とその経営診断手法の基本的考え方 公益社団法人中央畜産会　経営支援部（支援・調査） 部長　武田　航
２月 17 日（水）	8:45～10:05	
	10:15～11:35	畜産会組織で行っている経営診断手法の考え方と診断の実際 同　上
	12:35～15:20	経営診断の実際（演習） 同　上
	15:35～17:05	外部環境分析のために 株式会社アルマ経営研究所 取締役（経営コンサルタント）　近藤　厚志
２月 18 日（木）	8:45～10:15	
	10:25～11:55	内部環境分析のために 同　上
	12:55～14:15	
	14:25～17:15	マーケティング重視の経営診断 同　上
２月 19 日（金）	8:45～11:55	これからの肉用牛の畜産経営について 茨城県畜産農業協同組合連合会 代表理事会長　中川　徹
	11:55～12:10	閉講式

事情により講師及び時間を変更する場合があります。

3　開催場所（宿泊等の問合せ先）

独立行政法人　家畜改良センター　中央畜産研修施設

住　所　〒961－8511 福島県西白河郡西郷村大字小田倉字小田倉原１

ＴＥＬ　0248－25－7060

ＦＡＸ　0248－25－6755

4　受講対象者の範囲

畜産職域に配属された国、地方公共団体又は畜産関係団体の職員、畜産経営診断や簿記の基礎知識がある者、農業に従事する者

5　受講者数　30 名程度

6　受講者の留意事項

（１）受講者は、宿泊等については研修開始 10 日前までに中央畜産研修施設へ直接申し込むこと。

なお、領収書の宛先は原則個人名宛てになっているが、変更を希望する方は、宿泊届提出の連絡事項にその旨書き込むようにすること。

また、事情により欠席することとなった場合は、速やかにその旨を研修施設に連絡すること。

（２）研修施設への入所は、研修初日の９時 00 分～12 時 00 分までに行うこと。

なお、家畜伝染病予防のため、研修施設に入所する当日は、極力、畜産関連施設等への訪問は避けること。

（３）受講者は、**演習講義で使用する電卓**のほか、健康保険証、筆記用具、寝巻等を持参すること。

本研修に関する問合せ先

農林水産省畜産局総務課調整班　宮本

TEL　03-6744-0568（ダイヤルイン）